

※定員のある事業については、4月2日から(9:00~17:00まで、日・祝は除く)受付します。先着順のため定員になりしだい締め切ります。幼児については、保護者同伴をお願いします。必ず上靴を持ってきてね!

日	時間	事業名	内容	定員
4月 7日(土) 14日(土) 21日(土) 28日(土)	14:00~16:00	子ども広場	「将棋広場」 ~初めての人・少しでも興味を持った人は、気軽に参加してください~ 対 象：おおむね小学1年生~6年生 ※開催日が変更になる場合があります。	なし
4月19日(木)	10:00~11:30	子育てセミナー	「親子体操」 ~親子で楽しく体を動かそう!~ 講 師：山本尚明氏(体育文化指導協会) 場 所：青少年児童センター 体育館 持 物：水筒・タオル・着替え・親子とも体育館シューズ ※定員はありませんが、初めてのの方は事前に申し込みが必要です。	なし
4月21日(土)	10:00~11:30	おもしろ教室	「ビーズストラップ」 ~かわいいお花のストラップを作ろう!~ 対 象：幼児と小学生 (ただし、幼児~小学2年生までは、保護者同伴) 持 物：100円/人・はさみ	15人

サラダボール

先日、社会的にも有名なインターネットの掲示板やツイッター(つぶやき)を閲覧する機会がありました。さまざまなテーマで、多くの人が盛んに意見交換をしているのですが、中には誰が見ても人権侵害にあたるような誹謗中傷であったり、驚いたことに個人名をあげて、明らかにプライバシーの侵害にあたるような情報を躊躇なく書き込んであるページも見かけました。

ここ10数年で、インターネットを通じて、世界中の誰とでもコミュニケーションをとることができ、また多くの情報を得ることができるようになりました。しかも最近では、携帯電話やスマートフォン、インターネットにつながるゲーム機などの普及により、子どもたちにも身近なものとなっています。

ネット社会の恐ろしさは、互いに

顔が見えない中で、他人の干渉を受けることなく、自分の意のままに表現できる空間を容易に形成してしまえることです。以前は、トラブルを解決するためには、同じ席について話し合うことが一番の近道であり、直接会えば、自制心が働く場合も多く、感情が高ぶり行き過ぎた場面では、周りの人が制してくれる場合もありました。しかし、ネット社会では、個人がパソコンやモバイル機器の前で自分の気の向くままに言葉を発信することができ、たとえ感情が高ぶった場面でも誰に止められることもなく、むしろエスカレートしていくことも少なくありません。つまり、ネット社会では、自分を抑制するのは自分しかないのです。だからこそ、自分のひと言が、ともすれば世界中に広がり大きな影響をおよぼす可能性があることや、無機質な

文字に込められた意味が、不特定多数の受け手によって自分の意に反して一人歩きをする場合もあるということに自覚する必要があります。

しかし、成長途上の子どもたちは、利便性の裏側に危険性がひそんでいることに気づかないことも多くあります。だからこそ、周りの大人が、しっかりと見守る中で、人権感覚やネット社会のモラルなどを学ばせていくことが大切なのではないでしょうか。

ネット社会の発展は、人類の大きな進歩です。ただ、それを有効に活用するための人権感覚やモラルがついて行っていないのではないかと……そんな危機感を感じたひとときでした。

(人権推進課)